

造船向き作業用アシストスーツ・プロトタイプの概要

【タイプA：コンパクト型】

- ・ラチェットによりロックし上腕を支える
- ・電気を使用せずシンプルな構造
- ・軽量でコンパクト
- ・ある程度の角度まではロックしたまま腕（脇）の開きに追従
- ・作業者が使用している安全帯にも取り付け可能
- ・既に開発した農業向けの腕上げ作業補助器具がベースとなるため早期実用化が可能



【タイプB：機能型】

- ・電磁ブレーキによりロックし上腕を支える
- ・電気を使用しスイッチ操作によりロックの ON/OFF が可能
- ・スイッチを ON にしている間は確実にロックする
- ・背中に配置した板バネにより、ある程度の腕の動きに追従可能
- ・実用化段階ではケーブルレス化（電源及びスイッチ）を目指す

